

国際教養大学長
内定者の中嶋氏が講演
「入試で将来性見極める」

3/15
読売



国際教養大学について語る中嶋嶺雄氏

来年四月に開学する国際教養大学長に内定している中嶋嶺雄氏の講演会が十四日、秋田市の県商工会館で開かれ、約七十人が耳を傾けた。

県などの主催。中嶋氏は「国際社会で活躍できる人材とは―国際教養大学の創設について―」をテーマに講演。学生募集について、「入学試験を安易なものにしたくない。ペーパーだけでなく、面接でやる気、将来性を見極めたい」と述べた。さらに、「単に口先で英語ができるだけではだめ。語る内容を持っていれば、たとえどしくても意見

が通じる」と語学とともに専門性が求められることを指摘した。

また、少子化で学生確保が難しくなることについて、「この時代に大学を増やすのはナンセンスだが、本当に必要な大学はどれほどあるか。将来の人材を育てる大学こそが必要」と開学意義を強調した。